Course title <english></english>	•	社会健康医学課外実習 Field Training for Public Health Practice					department.			Graduate School of Medicine Professor,FUKUHARA SHUNICHI		
Target year		Professional degree students		Number of cred		its	2	Course offered year/period			2018/Intensive, year-round	
Day/period		Intensive	Class style		Practical training					Language	Japanese and English	
[Outline and Purpose of the Course]												

I. コースの概要

- ・就業体験を通じて、学んだ専門知識等を活かし、応用力を高める。
- ・キャリアデザインの具体化につなげる機会とする。
- ・所属分野の指導教員と、場合によっては、加えて他分野の主担当教員とも、十分に相談の上、履 修届を出してください。

(計画未確定のままに急いで、学年初め・学期初めに履修届を出す必要はありません。)

- III. 学習到達目標(このコース終了時までに習得が期待できること)
- ・社会の現場で必要な技能の向上を図る。
- ・大学院で得た知識・技能を、いかにして実務に役立たせるかを確認する。
- ・志望する就業の現場での雰囲気や必要な技能を知る。
- ・実務を通じて、社会貢献をする。

III. 教育・学習方法

・就業体験を通じて、学んだ専門知識等を活かし、応用力を高める。

[Course Goals]

学習到達目標(このコース終了時までに習得が期待できること)

- ・社会の現場で必要な技能の向上を図る。
- ・大学院で得た知識・技能を、いかにして実務に役立たせるかを確認する。
- ・志望する就業の現場での雰囲気や必要な技能を知る。
- ・実務を通じて、社会貢献をする。

[Course Schedule and Contents]

|所属分野の指導教員等と、十分に相談の上、インターンシップの計画を立ててください。

[Class requirement]

KULASISでの履修登録はできません。履修する場合は、窓口に申し出てください。

[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

- ・終了後速やかに報告書・レポート(報告書の様式は教務掛を通じて入手すること)を作成し、か つ、インターン先の責任者と指導教員の確認を得ること。
- ・合否のみ、判定する。

Continue to 社会健康医学課外実習(2)

社会健康医学課外実習(2)
[Textbook]
・諸々の学習資源は、就業体験を通じて得られる。
[Reference books, etc.]
(Reference books) ・諸々の学習資源は、就業体験を通じて得られる。
[Regarding studies out of class (preparation and review)]
適宜予習復習を求める
(Others (office hour, etc.))
その他メッセージ ・他の履修科目の日程と重複しないように計画してください。重複した場合、インターンシップを 優先するわけではありません。必要な際は、該当する科目責任者に相談してください。 ・履修登録(単位取得)せずに、インターンシップを行ってもかまいません。 ・実質的な業務が計60時間以上で2単位。 計30時間以上で1単位とします。 ・上記の時間の目安と、就業体験の内容と質を、主担当教員(指導教員等)が評価し、合否と単位 数(1単位か2単位)を判定します。 ・報告書の様式(教務掛で受取ること)を主担当教員(指導教員等)に提出し、履修届けを同時に 行ってください。 *Please visit KULASIS to find out about office hours.